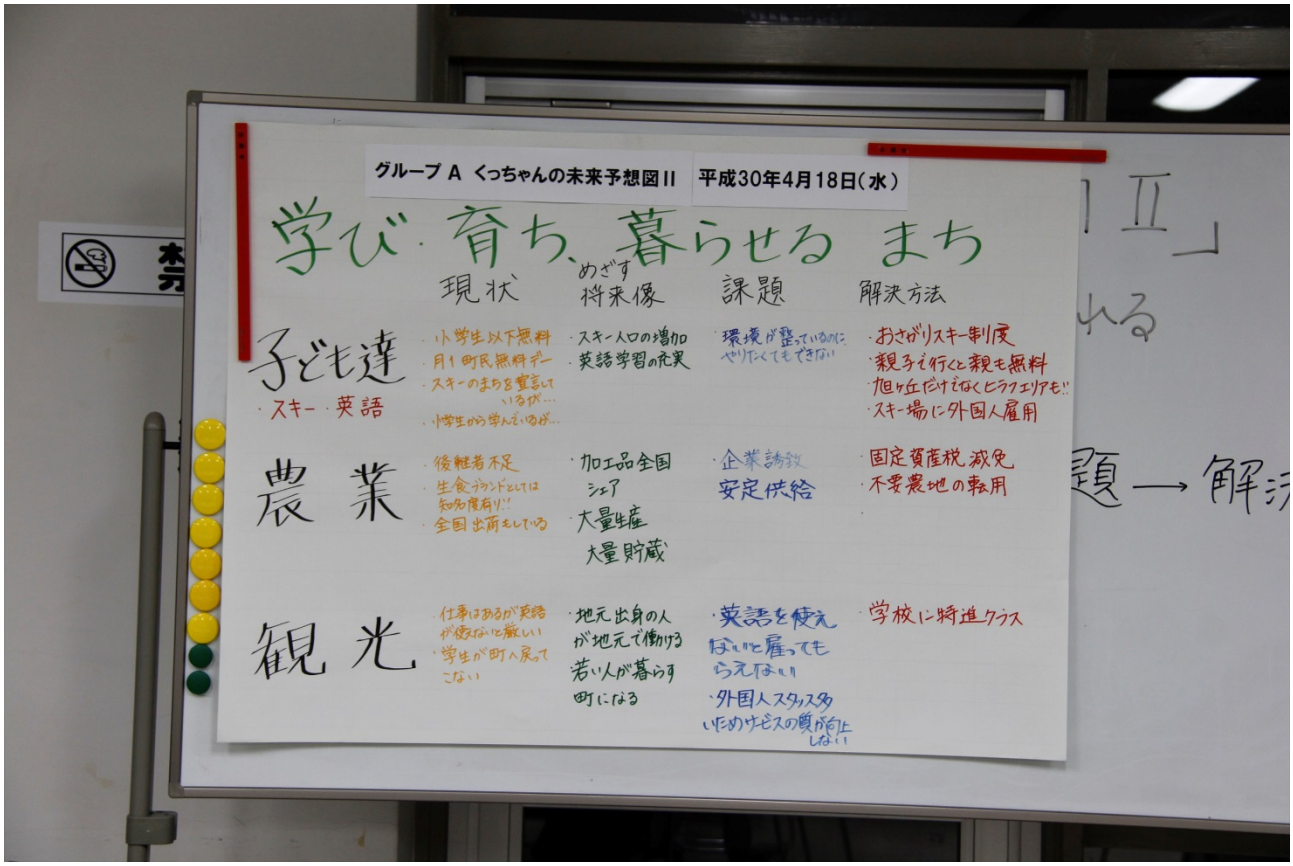
倶知安町の未来予想図Ⅱ　庁内　Ａグループ



◆キャッチフレーズ：学び、育ち、暮らせるまち

○子ども達　⇒　スキー・英語

スキーの町　→　スキーができない　→　コスト高の問題

・スキー用具のおさがり制度
・親子で行くと親もリフトが無料
　　} ひらふエリアでやることで盛り上がり

・スキー場スタッフを外国人に　→　子ども達の英語

○農業　⇒　生食用ではなく加工品として

生食用ではなく加工品として販売　→　大企業の誘致　→　固定資産税の減免

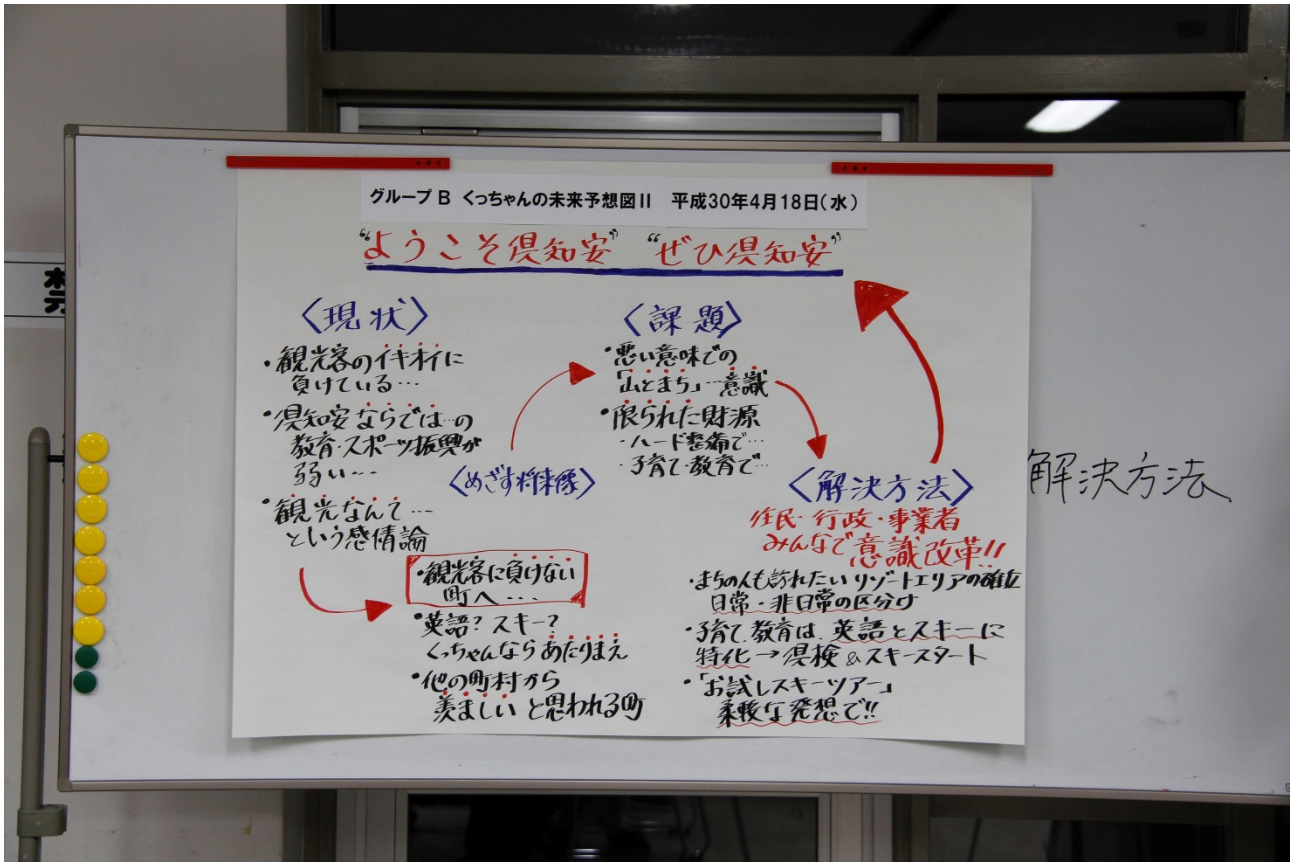
○観光　⇒　英語　→　英語が話せないと仕事につけない

・英語の特進クラスの設置　→　就職しやすい

・倶知安で学んだ英語を倶知安で活かす

●倶知安で生まれたものが、倶知安に帰ってくる

倶知安町の未来予想図Ⅱ　庁内　Ｂグループ

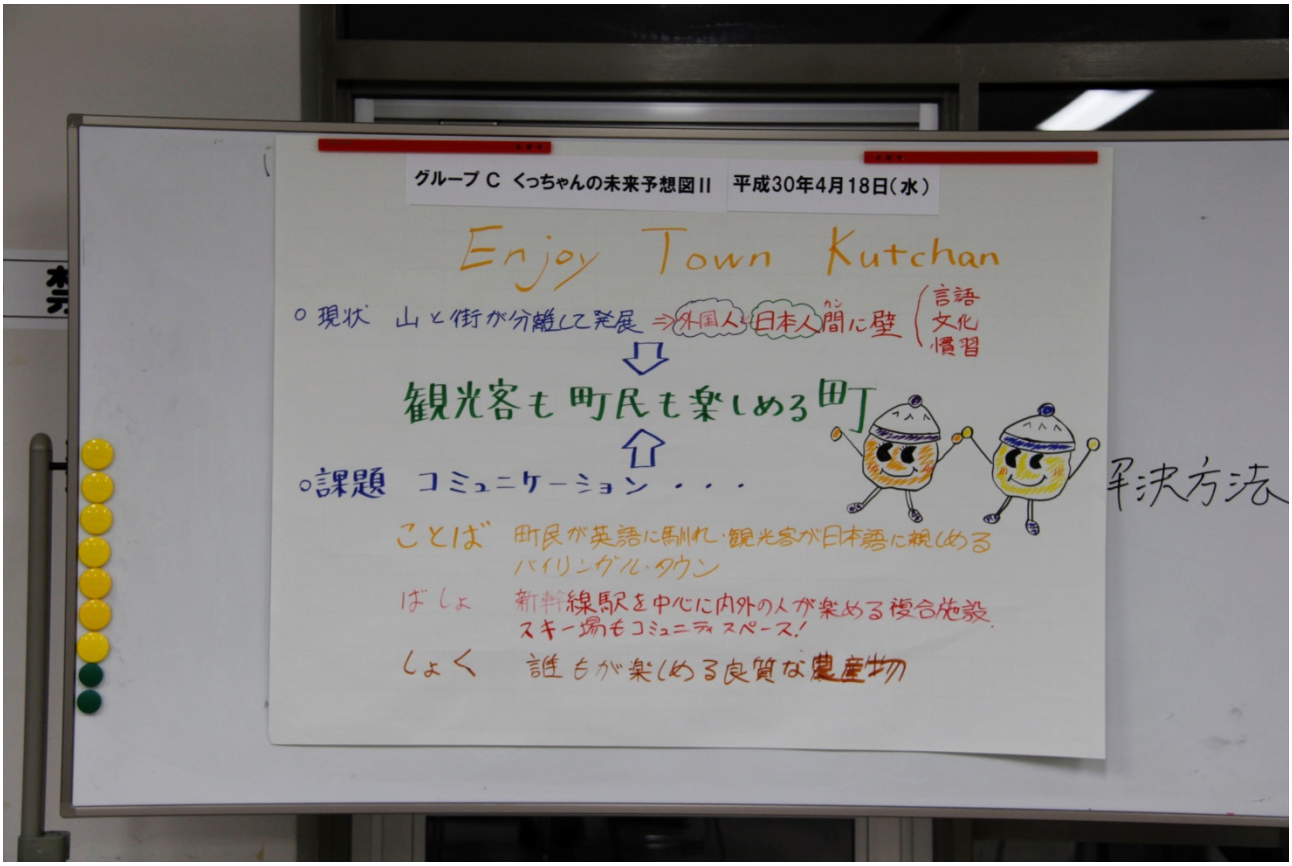


◆キャッチフレーズ：“ようこそ倶知安”“ぜひ倶知安”

・観光客の勢いに負けている
・倶知安ならではの教育・スポーツ環境を活かしてない
・観光なんて…という感情論

〇観光客に負けない町
　・町の人も訪れたくなるリゾート
〇倶知安なら当たり前　⇒　英語とスキーしかやらない意気込みで
　・倶知安独自の英語検定
　・スキースタート
　・スキー用品のおさがり制度
　・お試しスキー体験ツアー（新幹線利用者）
〇街と山をきっちり分ける
　・財源がない、全部はできない　→　住民・事業者・行政が意識改革を
　・リゾートエリアと閑静な住宅街
〇周りにうらやましいと思われる町に
　・パウダースノーなど材料は揃っているので、あとはどう料理するかが大事

倶知安町の未来予想図Ⅱ　庁内　Ｃグループ



◆キャッチフレーズ：Enjoy town Kutchan

○山と街が分離して発展

街 → 羊蹄中核都市
山 → 国際リゾートとして独自に発展
} ギャップがある

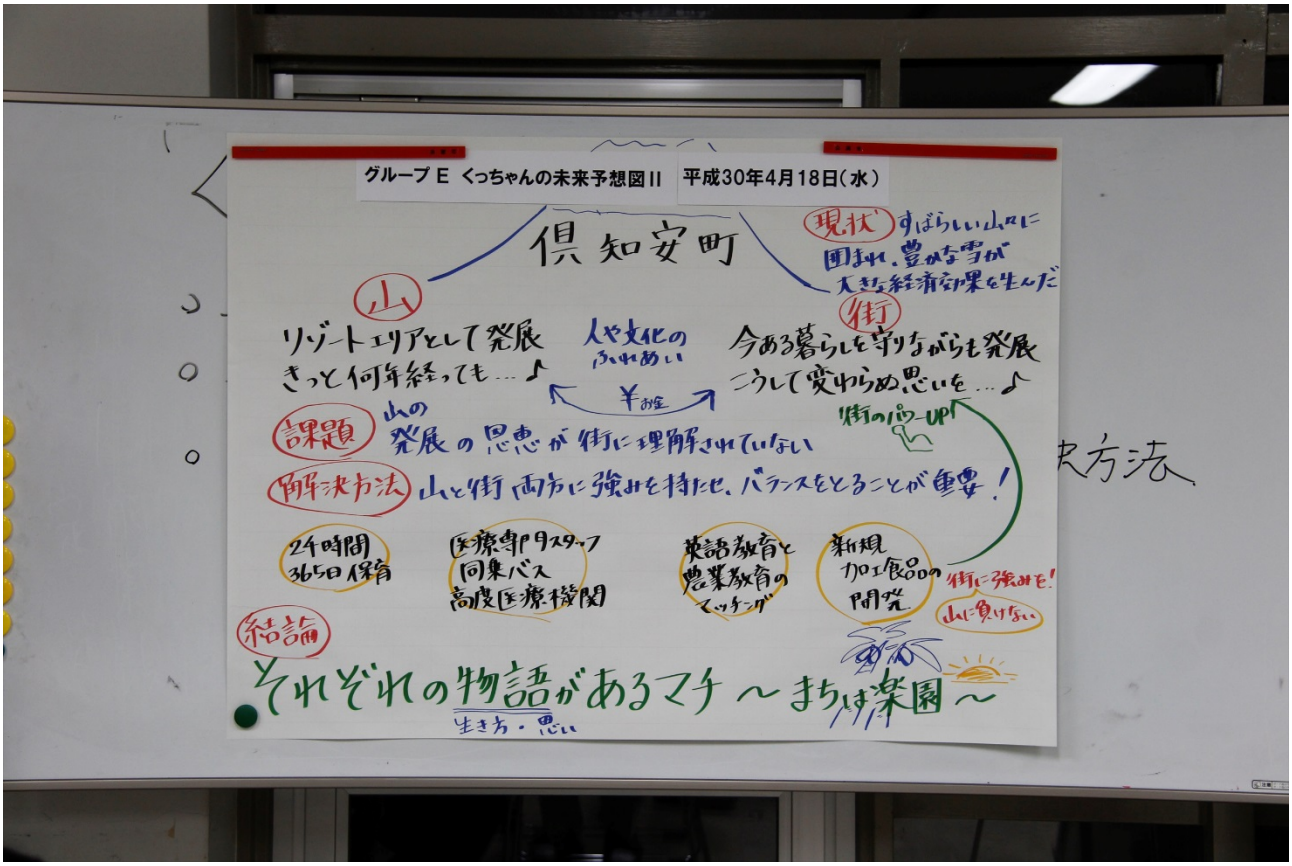
今後も平準化することはない　→　それをひとつのまちとしてどうやっていくか？

○観光客も町民も楽しめる町

○課題はコミュニケーション

・言葉　→　バイリンガルタウン（英語・日本語）
・場所　→　町民・観光客・山麓町民が集まる場所　新幹線駅・職場・スキー場
・食　→　じゃがいも、農業高校
　農業高校　大きな特徴、大きな強み　→　町外から人をよべる
　農業高校　→　農業大学・農業の高度研究機関

倶知安町の未来予想図Ⅱ　庁内　Ｅグループ



◆キャッチフレーズ：それぞれの物語（ストーリー）があるマチ ～

○豊かな自然　→　大きな経済効果を生み出す

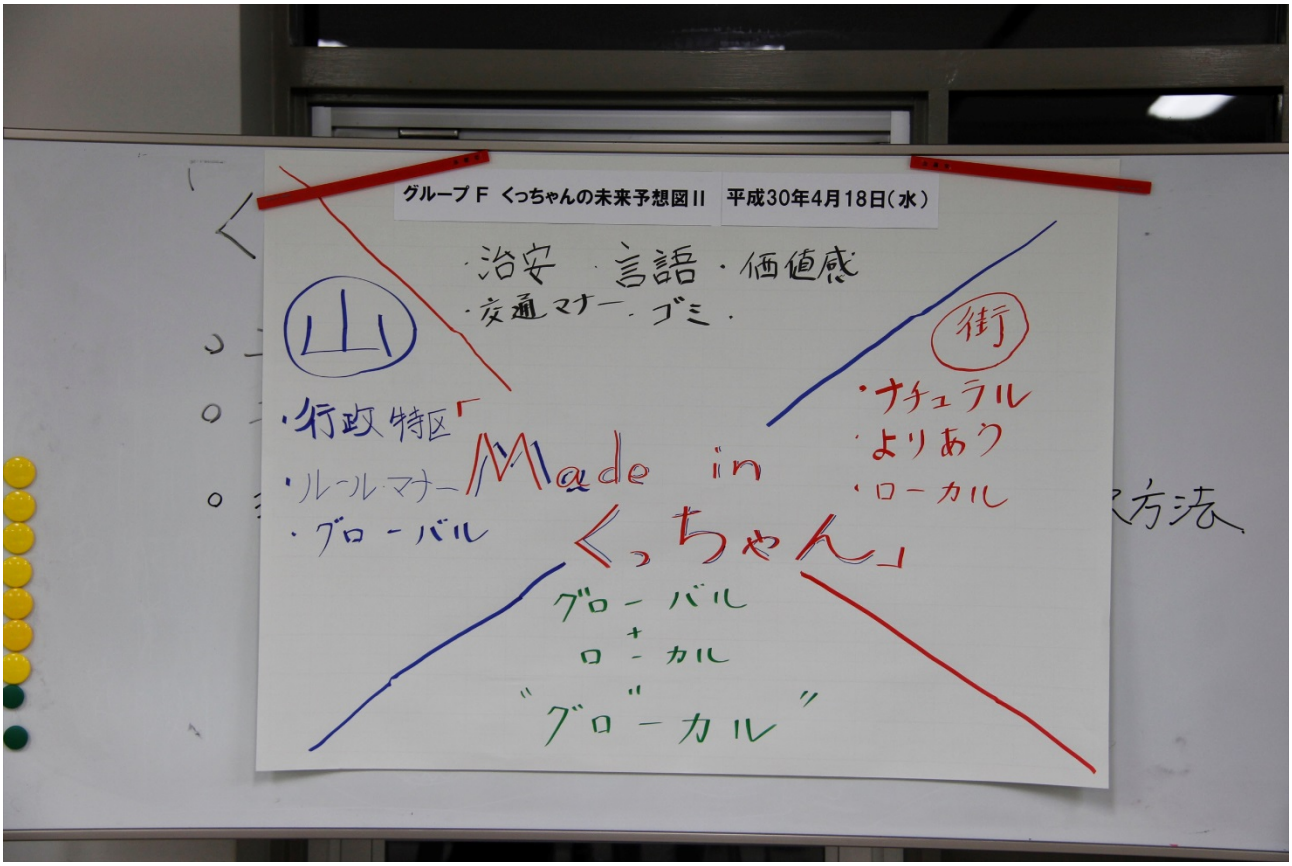
○二つに分かれた山と街　→　アンケート結果：国際リゾート化ＮＧ

・山の発展の恩恵を町民が理解してない
・山は勢いがある、街はそうでもない　→　<u>街をパワーアップ</u>
・街をパワーアップ
　医療は充実しているなど、街の良さが薄れている。本当は強みを持っている町

街：今ある暮らしを発展
　　医療の更なる充実
　　24 時間保育
　　高度医療
　　じゃがいもの加工
山：リゾートエリアとして発展
　　医療スタッフ同乗バス

} それぞれのストーリーがある

倶知安町の未来予想図Ⅱ　庁内　Ｆグループ



◆キャッチフレーズ：Made in くっちゃん

○10 年前、外国人が増えてきた。最初見た時の驚き

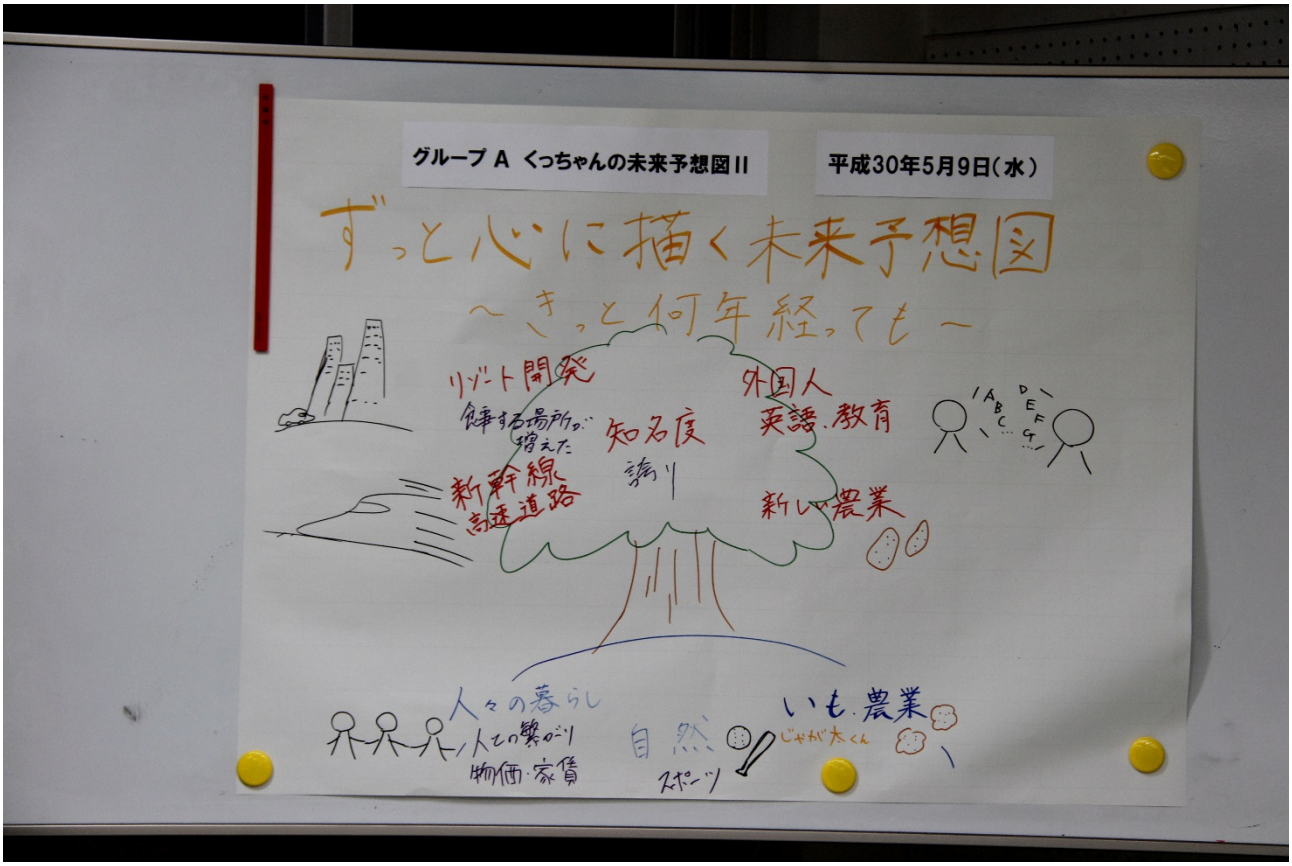
・子ども達　→　生まれた時から外国人がいる環境
　　ハーフ（ミックス）、樺山分校
・外国人を意識していない　→　多文化　→　文化の違いをすり合わせ中
・文化の違いをすり合わせ中　→　若干のとまどい
・文化の違い：見えてきた部分と見えてきてない部分

○倶知安に来てよかったと思われるために

・山と街を分けて
　山：グローバルな視点のまちづくり（例）ルール、視点
　街：ローカルな視点でのまちづくり（例）昔からのルール、寄り合う

○グローバル＋ローカル＝グローカル（ Made in くっちゃん ）

倶知安町の未来予想図Ⅱ　町民　Ａグループ



◆キャッチフレーズ：ずっと心に描く未来予想図～きっと何年経っても～

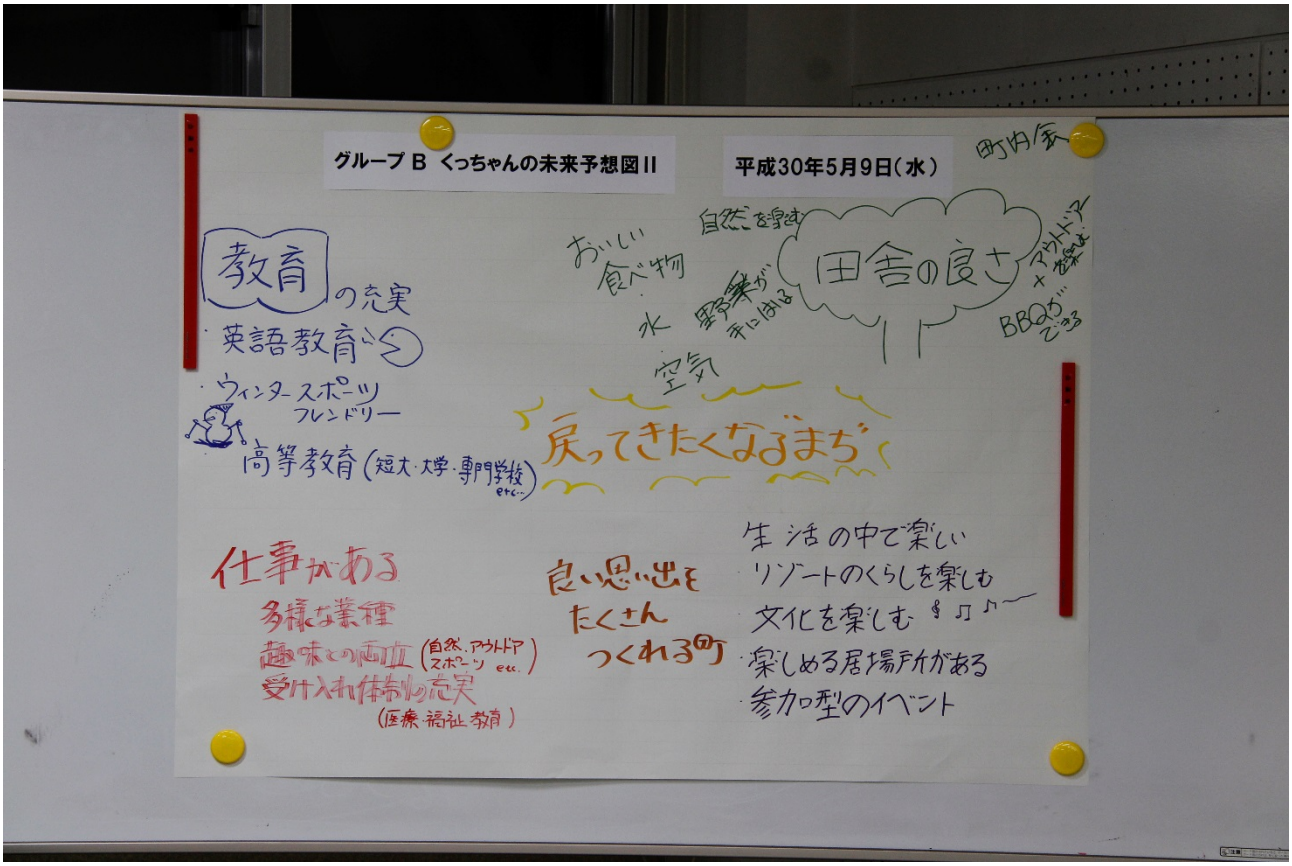
○「ずっと変わらないもの」の上に成り立つ「木（現在・未来）」

・ずっと変わらないもの
　人々の暮らし、人との繋がり、物価、家賃、自然、スポーツ、いも、農業
・現在・未来
　リゾート開発、食事する場所が増えた、外国人、英語教育、新しい農業
　新幹線・高速道路
　こうした現在・未来によって知名度が上がり、誇りに繋がる

○なぜ木か？

木の葉は、枯れて地表に落ちて、やがて土に帰る。現在・未来を表した、例えば新幹線や高速道路は、やがて「ずっと変わらないもの」になって、その上には新しい葉が生まれる

倶知安町の未来予想図Ⅱ　町民　Ｂグループ



◆キャッチフレーズ：（自分の居場所に）戻ってきたくなるまち

戻ってきたくなるまち　⇒　住民が生活を楽しむ町

〇仕事がある（現実問題）

・多様な業種　→　英語など教育に繋がる
・趣味との両立
・多様になれば対応できなくなることもある（受入環境）（例）休日保育

〇倶知安らしい教育

・倶知安育ちなら、英語とスキーは当り前
・戻ってきてもいいが、やはり高等教育の必要性

〇田舎の良さ（リゾートといわれていても）

・おいしい食べ物　→　リゾートで人が来るのでおいしいものが食べられる
・バーベキューが気軽にできる（外で過ごす時間が長い）
・近所付き合い、近所の安心感

〇リゾートの暮らしを楽しみたい

・文化を楽しむ　→　映画・音楽
・参加型のまちづくり　→　思い出づくり、それぞれの居場所づくり

良い思い出をたくさんつくれる町

倶知安町の未来予想図Ⅱ　町民　Ｃグループ

◆キャッチフレーズ：町民ファースト

〇町民ファースト：町民のことを第一に<u>町民が楽しめる</u>、町民が暮らしやすい

〇しかし、観光客がいないと町は衰退する

〇町民が楽しめるからこそ、観光客が来る、人が来る（集まる）

〇あえて時代を逆行、いい意味での田舎、都会を目指す必要なし

・人との交流やつながり　→　世代関係なく交流の場
・子ども達が外で遊ぶ　→　安全で安心な遊び場
・田舎でもリゾート　→　倶知安留学

〇住みたい田舎

・商いは助け合いから
・各団体・町内会　→　参加することが大事
　倶知安がひとつの学校、コミュニティは部会